

失敗しない家づくり

2020.4.25/5.5

USER

地域の工務店が建てる家

ここに工務店のシールかスタンプを押してご利用下さい

Spring Edition【春号】
家族が幸せになる家づくり

特集1

工務店とハウスメーカーの違い

特集2

「健康住宅」に近づく方法



日本住宅新聞
ユーザー版
2020年4月25日・5月5日
発行所: (株)NJS日本住宅新聞社
東京都文京区千駄木3-45-2
電話 (03)3823-2511 (代)
<https://www.jyutaku-news.co.jp>

TOSTEM



TOSTEM LW



リビングに、外とつながる心地よさを。

開けても閉めても外とつながる、1枚障子のスライドスタイル。
心豊かな暮らしは、明るく気持ちのいい窓辺からはじまります。

CLOSED

閉じてよし

窓を閉めていても、
外と内がつながる心地よさ



OPEN

開いてよし

窓を開ければ、
外と内が一体化する心地よさ



Column



“テレビ部屋”から“家族の多目的空間”へ、
ますます重要度が高まる
リビングの心地よさ。

近年、家族とのつながりを重視する人が増えたことや、スマートフォンなどが普及したことから、自分の部屋にこもらず、家族がリビングに集まって好きなことを過ごすという家庭が増えています。勉強、仕事、趣味、メイク、ストレッチ。家族がさまざまなことをしながら長い時間を過ごす空間だからこそ、今まで以上にリビングの居心地のよさが求められています。

「理想の住まい」とは何でしょうか？

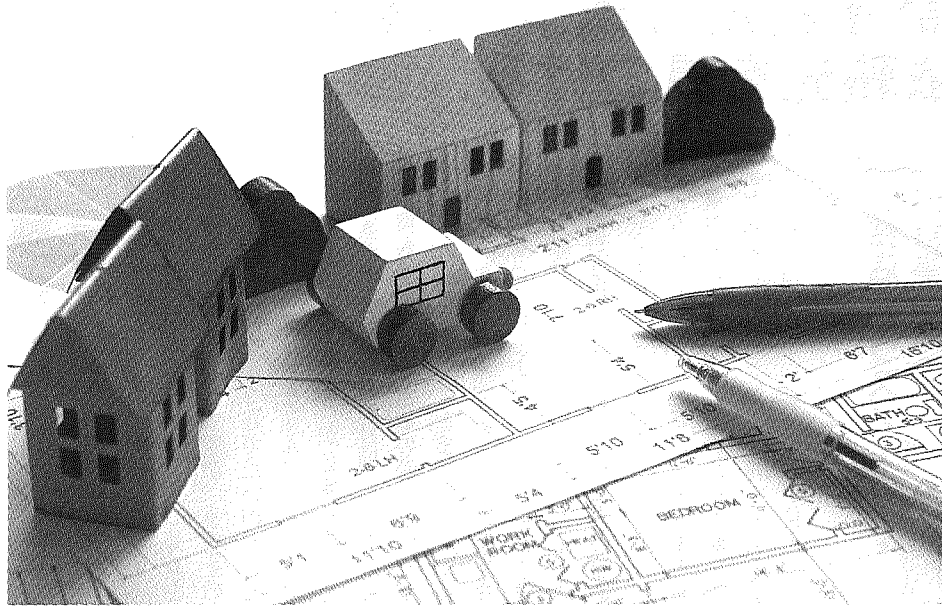
「理想の住まい」とは何でしょうか。考え方やスタイルは人それぞれですし、その時の家族構成や自分の年齢等で、住まいに求めるものは変化するかもしれません。

よく、住宅は「人生で一番高い買い物」と言われます。そのため、自動車のように「乗り心地や操作、燃費などが良くないから違う車に変えよう」というわけにはなかなかいきません。取得する際には熟慮が必要となります。

「値段が安かったから」「営業マンが素敵だったから」等、安易な考えで住宅を購入したとしても、何か問題が生じたときに被害を受けるのはあなた自身。幸せな生活を築くために求めた住まいでシックハウス症候群になったり、アレルギーになったり、あるいは毎日不便・不快な通勤を強いられ、自律神経失調症になったりしたら…。

何のために大金をかけて購入したマイホームなのかわからなくなってしまう。

だからまず、住まいは「何よりも住んだ後の住み心地、安心・安全、健康性」を十分に考え、理解し、納得したうえで決めてください。少なくとも、住宅ローンを払い終わった段階でどの程度の資産価値が残っているのかといったことや、将来的に子どもが巣立った後の間取りをどうするか、また子どもたちがいつても生まれ育った実家へ帰りたくなるような家とできるのか、熟慮を重ねたうえで決めたものです。そうはいっても、住ま



いづくりはなかなか思うようにはいかないのが現実です。住んでみてから、「あすればよかった」「こうすればよかった」という不満が見つかるものです。軽微な不満なら、修繕することで、自分の理想に寄せることも可能です。住宅は引き渡しを受けた時点で完成ではありません。住みながら、完成させていくというのにも住まいづくりの特徴といえます。そのためにも、信頼できる工務店や設計事務所を選び、主治医のようにお世話になることが大切です。

「良い家は人格をつくる」とも言われます。また、「良い家は、健康を育む」とも言われます。良い住まいづくりの参考にこの冊子を活用いただければ幸いです。

工務店の使命～それは地域の家守り～

住宅が出来上がるまでには、実に様々な職種がかかわってきます。多い時には30種類以上にも及び、一棟の住宅の建設のために百人以上がかかわることもあります。その住宅を完成した形にまとめるのは誰の仕事でしょうか。

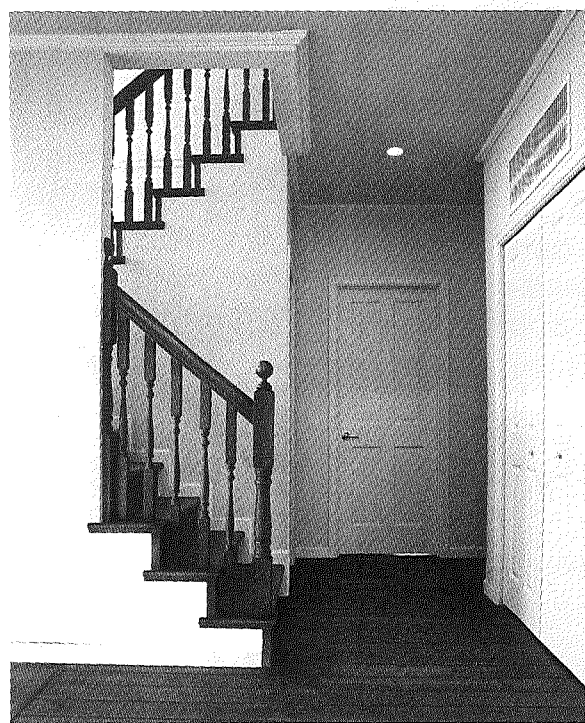
住宅が主として木と土と紙でできていた昔、それは棟梁といわれる人の仕事でした。お客様と折衝し、職人を集めて材料を吟味し差配する。いわゆるコーディネーターの仕事をごなされていたのです。

住宅を建築する際の中心的存在は大工職です。したがって、棟梁といえは大工上がりの人が多かったのですが、戦後になって工務店という名称が用いられるようになりました。

大工さんといえは家を建てる人、というのは今でも変わりませんが、工務店で職人として働く大工と、独立して将来は工務店を目指す大工がいます。一時期は「大工・工務店」という呼び方もあり、両者は分かち難い存在でした。現在でも自ら職人を育てながら、住宅建設の元請けである工務店として活躍している親方が多くいます。

戦後になって住宅が「産業」になるにつれ、工務店が果たすべき役割は飛躍的に大きくなりました。住宅に関する法律、業者に関する法律などが整備される中で、地域社会に責任を果たすべき企業としての役割も求められることになりました。住宅関連の技術や製品が多種多様になる一方、企業としての経営を確立するための情報も収集しなければなりません。かつてのように大工ばかりではなく、ふさわしい能力のある人が工務店を営むようになりつつあります。

しかし、近代化と淘汰の波にさらされながらも、多くの関連職種をまとめる、家づくりのためのコーディネーターであるという本質は変わっていません。お客様が健康、快適、幸せに暮らせる住まいを提供することは、工務店にとっての最大の使命です。そして、いつまでも地域の家守りとして、信頼される企業であり続けることも。



たった8つのステップで失敗しない! 家づくりノート

重要なお知らせ
「ギョウ」をまとめた

発行 KS倶楽部 家づくり研究会
制作・プロデュース 株式会社 think garbage
定価 本体1,000円+税

たった8つのステップで失敗しない! 家づくりノート

既刊取扱書籍のご案内

このノートを使えば…

- ・家づくりの流れがわかる!
- ・家族にとって必要な家の形が見える!
- ・家族の希望を簡単に伝えることができる!
- ・家づくりの予算を把握できる!
- ・家族の家づくりの思い出が残せる!

たくさん書き込めば書き込めば理想の家づくりにつながります。家族みんなでワイワイ書き込んで夢の家づくりへの第一歩をスタート!

超速図解

日本住宅新聞社 取扱書籍ランキング 3位タイ

●主な内容

- Step 1 家づくりのイメージを自由に描いてみよう!
- Step 2 まずは家族について書き出そう
- Step 3 こんな家が欲しい! 要望を伝えよう
- Step 4 愛用している家具・家電のサイズを測ろう
- Step 5 キッチンまわりの達人になろう
- Step 6 実例集に基づいた収納づくりの心得
- Step 7 資金計画を学ぼう

株式会社NJS日本住宅新聞社

書籍のお申込みは、弊社ホームページからお願い致します。

NJS日本住宅新聞社

検索

工務店 USER

家づくりはどこに頼めばいいですか？

工務店・ハウスメーカー・設計事務所の家づくりを把握し、自分にあった依頼先を見つける

依頼先を決める前に考えること

家づくりを始める上で問題になってくるのは「どんなパートナーと家づくりをするのか」ということです。まずその前に自分がどんな家を建てたいのか、どんなライフスタイルを望んでいるのかよく自己分析をすることが必要です。それは家づくりにどれだけ関わりたいのか、関わる事ができるのか、ということによっても変わってきます。これからの時代、家は長寿命であることが重要な条件になってきます。自分達の世代だけで家を維持していくのではなく、子の世代、または自分達も親の世代のものを継いでいくという考え方も持つことが、経済的な面から、家庭環境面からも必要となってきます。一歩引いた視点から未来を見据えたライフスタイルを考えることで、本当に必要な家づくりが見えてくるかもしれません。

工務店・ハウスメーカー・設計事務所のメリット・デメリットを把握

自分の自己分析とライフスタイルが見えてきたら、それを形にしてくれる依頼者を徐々に絞っていくといいでしょう。家づくりの依頼先は大きく分けて「工務店・ハウスメーカー・設計事務所」の3つに分けられます。それぞれのメリット・デメリットをしっかりと把握した上で依頼先を決めたいものです。図表にもまとめましたが、簡単にその他のメリット・デメリットを解説しましょう。

工務店：工務店の大きな使命は、地域に密着して、品質のよい家づくりをすること。住宅の高性能化と長寿命化がますます重要視されていることから、現場で生きたる工務店として、地域に根差し、地元で還元していくという役割はこれからの工務店に求められる姿勢でもあります。何世代にも渡ってメンテナンスしながら、家の長寿命化を図ることが求められ

ている今日、担当者がどんどん変わってしまうハウスメーカーや、一代で事務所を閉めてしまう設計事務所よりも、地元で長年根差し、親子代々工務店を営んでいくことこそが、今後の住宅業界にとって必要とされる姿です。ですから、工務店経営者も次世代に繋げていけるよう、後継者を育てていくことにますます必要

性を感じています。また、デメリットとして挙げられるアフターサービスなどの保証体制についても、積極的に取り組んでいる工務店は数多く存在しています。建てた後から真のお付き合いが始まる——そんなハウスドクターとしてアフターメンテナンスを通じて、末長いお付き合いができる工務店と

工務店・ハウスメーカー・設計事務所の家づくりメリット・デメリット

	メリット	デメリット
工務店	<ul style="list-style-type: none"> ●住む人の都合を優先し、設計の自由度が高い。 ●地元の評判が大事のため、施工はもちろん、完成、引き渡し後のメンテナンスを大切にします。 ●広告宣伝費など無駄な経費をかけないので、総予算の中で工事にかける費用が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一般的に会社規模が小さく不安にみえる。 ●洗練されたデザインができない。提案力がない。 ●相続・贈与・税制面などの資金面のサポートが弱い。
ハウスメーカー	<ul style="list-style-type: none"> ●会社組織の規模が大きく、社会的ブランド力がある。 ●住宅展示場がエリアごとであり、実体験できる。 ●銀行や税理士など、資金面の世話から、引っ越し、仮住まいの手配などを任せられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自社の商品しか売ることができない。 ●プラン・仕様などが思ったほど自由にならない。 ●広告宣伝費や人件費がかかり、一般的に価格が高め ●実際に家を建てる下請けの工務店ごとの技術に差が出てしまう。
設計事務所	<ul style="list-style-type: none"> ●工事に対して制約を受けないため、ユーザー本位のこだわりを追求。 ●設計だけでなく、見積りチェック、予算の管理、スケジュールの管理、施工の管理もしてくれる。 ●細かい詳細図面の作成が終了してから、最終見積りになるので、請負契約後の追加がほとんどない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●敷居が高く、相談しにくい。 ●こだわりすぎる設計事務所に頼むと、家が建築家自身の作品にされてしまう。 ●契約しないと詳細な図面が出てこない。合わなかった場合は設計料が無駄になる場合も。

日本住宅新聞 ユーザー版 おもしろエピソード募集要項と応募方法

【募集内容】

心温まる内容やおもしろエピソードを募集しております。工務店さんとのやりとりの中で有難かった事、感動した事、役立った事、家づくりの中で気づいたこと、住んでから初めて気付いた事、その他にちょっと困った事や嫌だったなあと思っただ事など。200字程度（20字詰め原稿用紙1枚分相当）にまとめてメールあるいはFAXもしくは郵送でお送り下さい。（※川柳でも結構です）採用された方には、1000円分のQUOカードを差し上げます。連絡先を明記の上、下記宛先までご応募下さい。皆様からのご応募をお待ちしております。

【応募先】

〒113-0022
東京都文京区千駄木3-45-2
毎夕新聞印刷ビル3階
株式会社NJS日本住宅新聞社 営業開発 宛
FAX.03-3823-2566 / mail : support@jyutaku-news.co.jp

